JASDAQ
TSE JASDAQ LISTED

MEDICINOVA

MNOV
NASDAQ
LISTED

2013年12月期第2四半期 決算説明会

メディシノバ
代表取締役社長兼CEO 岩城裕一
チーフメディカルオフィサー　松田和子
副社長、東京事務所代表　岡島正恒

平成25年8月9日

将来の見通しに関する記述

資料には、1995年米国民事証券訴訟改革法に規定する「将来の見通しに関する記述」が含まれている可能性があります。これらの記述には、当社の製品候補の期待される進捗、ライセンシングの可能性、提携プランなどに関する記述が含まれます。これらの記述は、当社の経営陣がその時点の状況下において合理的であると判断して立てた前提に基づくものです。このような記述は、臨床試験の結果、見込み提携先の市場利益、当社が米国証券取引委員会に提出した届出書に記載されているものも含めたその他のリスク、不確定要素など、その多くは当社のコントロールが及ばないいくつもの前提、リスク、不確定要素の影響を受けるものです。実際の当社の業績は、「将来の見通しに関する記述」に示唆されるものと大きく異なることがあります。

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

会社理念と経営方針

会社理念

十分な治療がまだ確立していない疾病を患う
世界中の患者さんに、
よりよい治療を提供することにより社会に貢献すること。

基本経営方針

理念を具現すべく、こうした疾病の問題を
改善する医薬品の導入、開発、販売を手がける
グローバルな製薬企業を目指すこと。

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

会社概要

本社所在地： アメリカ合衆国
カリフォルニア州
ラ・ホイヤ

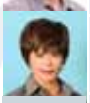
東京事務所所在地： 東京都港区
西新橋 1-11-5
新橋中央ビル5階

設立年月日： 2000年9月26日

資本の部： 22,950,973米ドル (約22.5億円)
(2013/6月末時点)

上場市場：
- 2005年2月8日、
東証JASDAQ市場上場
(銘柄コード：4875)
- 2006年12月7日、
米国NASDAQ市場上場
(銘柄コード：MNOV)

主な事業内容： 医薬品の開発

経営陣	経験年数	略歴
執行役		
 **岩城 裕一** 代表取締役社長兼CEO (最高経営責任者)	38年	ピッツバーグ大学教授、 南カリフォルニア大学教授歴任、ジャフコ、日本政策投資銀行顧問、アヴィジェン取締役
 **岡島 正恒** 副社長、東京事務所代表	22年	大和証券 SMBC、 住友キャピタル証券、住友銀行
 **マイケル・ジェナーロ** チーフ・ファイナンシャル・オフィサー(CFO)	27年	多種にわたる科学技術系の公的機関または私企業でのCFO及び財務担当副社長、 国際公認会計士事務所アーサー・ヤング&Co
 **松田 和子** チーフ・メディカル・オフィサー(CMO)	22年	南カリフォルニア大学助教授、カーク医科大学助教授、ロサンジェルス小児病院小児科医
 **カーク・ジョンソン** チーフ・サイエンティフィック・オフィサー (CSO)	24年	アヴィジェン研究開発担当副社長、ジェネソフト・ファーマスーティカルス薬理学・前臨床研究専務取締役及び上級執行役
(独立)取締役		
ジェフ・ヒマワン 取締役会長		エセックス・ウッドランズ・ヘルス・ベンチャーズマネージング・ディレクター、シードワンベンチャーズ共同創業
中田貴介 取締役		キッセイ薬品工業㈱
繁田寛昭 取締役		ザ・メディシンズ・カンパニー取締役、中外製薬取締役、日本ロシュCEO
泉辰男 取締役		T&Yコンサルタント LLP CEO、税理士法人First Ocean View 設立、司法書士法人First設立
デービッド・オトゥール 取締役		レスポンス・ジェネティックスCFO、アバレックス・バイオサイエンスCFO、デロイト・トウシュ・トーマツ パートナー

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

本日のアジェンダ

- 2013年上期のハイライト
- パイプライン開発状況
- 2013年12月期第2四半期決算の状況
- 2013年下期の予定
- 当社の株価状況

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

2013年上期のハイライト

事業活動ハイライト

2013年

1月：
- MN-221及びMN-166の臨床開発に関する戦略の更新を発表

2月：
- イブジラスト（MN-166）のメタンフェタミン依存症治療適応に対するFDAのファストトラック指定承認を発表

3月：
- イブジラスト（MN-166）のオピオイド依存症適応及び鎮痛適応データを米国神経学会年次総会で発表

6月：
- イブジラスト（MN-166）の薬物依存治療適応とするフェーズ1b臨床試験でポジティブなデーターを発表
- MN-001のNASH（非アルコール性脂肪性肝炎）を適応とする前臨床試験開始決定を発表

7月：
- イブジラスト（MN-166）の進行型多発性硬化症を適応とするフェーズ2共同臨床試験開始を発表

© MediciNova, Inc. 2013

IR説明会ハイライト

2013年IR説明会	
2013年3月5日	モーニングスター主催個人投資家向けIR説明会（札幌）
2013年3月8日	大証JQ主催『創薬・療法開発企業』合同事業説明会（東京）
2013年3月16日	日本IFA協会主催企業IRセミナー（東京）
2013年3月29日	通期決算説明会（東京）
2013年4月23日	モーニングスター主催個人投資家向けIR説明会(名古屋)
2013年5月23日	「賃貸住宅フェア」内株式投資フェア（福岡）
2013年6月19日	SMBC日興証券主催個人投資家向け説明会（鹿児島）
2013年6月26日	日本証券新聞社主催個人投資家向け説明会（大阪）
2013年7月2日	モーニングスター主催個人投資家向けIR説明会(新潟)
2013年7月9日	モーニングスター主催個人投資家向けIR説明会(浜松)
2013年7月30日	「賃貸住宅フェア」内株式投資フェア（東京）
2013年8月9日	中間決算説明会（東京）





© MediciNova, Inc. 2013

パイプライン開発状況

ポートフォリオ

製品候補	前臨床	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3
コア開発品				
イブジラスト(MN-166): 進行型多発性硬化症、疼痛、依存症 (キョーリン製薬株式会社)		疼痛	依存症、進行型MS	
ベドラドリン硫酸塩(MN-221): 気管支喘息急性発作、慢性閉塞性肺疾患 (キッセイ薬品工業株式会社)		慢性閉塞性肺疾患(COPD)	喘息急性発作	
ノンコア開発品				
MN-001: 気管支喘息、NASH (キョーリン製薬株式会社)		NASH		
MN-305: 全般性不安障害 (田辺三菱製薬株式会社)				
MN-001: 間質性膀胱炎 (キョーリン製薬株式会社)				
MN-221: 切迫早産 (キッセイ薬品工業株式会社)				
MN-029: 固形癌 (Angiogene Pharmaceutical Ltd.)				
MN-246: 尿失禁 (田辺三菱製薬株式会社)				
MN-447 & MN-462: 抗血栓 (Meiji Seika ファルマ株式会社)				

MEDICINOVA

パイプライン開発状況①

ベドラドリン硫酸塩(MN-221) :
気管支喘息急性発作
慢性閉塞性肺疾患 (COPD)急性増悪

ベドラドリン (MN-221) 概要

ベドラドリンとは

- ✓ 静注用β2-受容体作動薬 (低分子化合物)
- ✓ キッセイ薬品工業㈱からライセンス導入
- ✓ 適応を切迫早産から喘息急性発作へ変更
- ✓ 喘息適応で4本のフェーズ2臨床試験を完了
- ✓ COPD適応で2本のフェーズ1b/2a臨床試験を完了
- ✓ 今後の開発はパートナー、助成金に基づき進捗予定
- ✓ 少なくとも2030年までカバーする新しい用法特許





© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

MN-221に期待される効果

現在、臨床現場で使用される急性発作治療薬に比較しβ2選択性が高い、静脈注射薬

現行の治療法への付加の効果:

1. 投与経路による効果の改善
   - ✓ 静注 vs. 吸入

   吸入投与では治療効果の低い患者さんへの投与 (ニーズの存在)
2. 高い選択性による安全性の向上
   - ✓ 心臓血管への刺激の軽減
3. 保健費用の削減
   - ✓ 入院率や再発率 (急性発作再発による 再来院) の減少

© MediciNova, Inc. 2013

MN-221の次のステップ

1. FDAからAPI 製剤に関する要請
   - ✓ キッセイ薬品が対応中

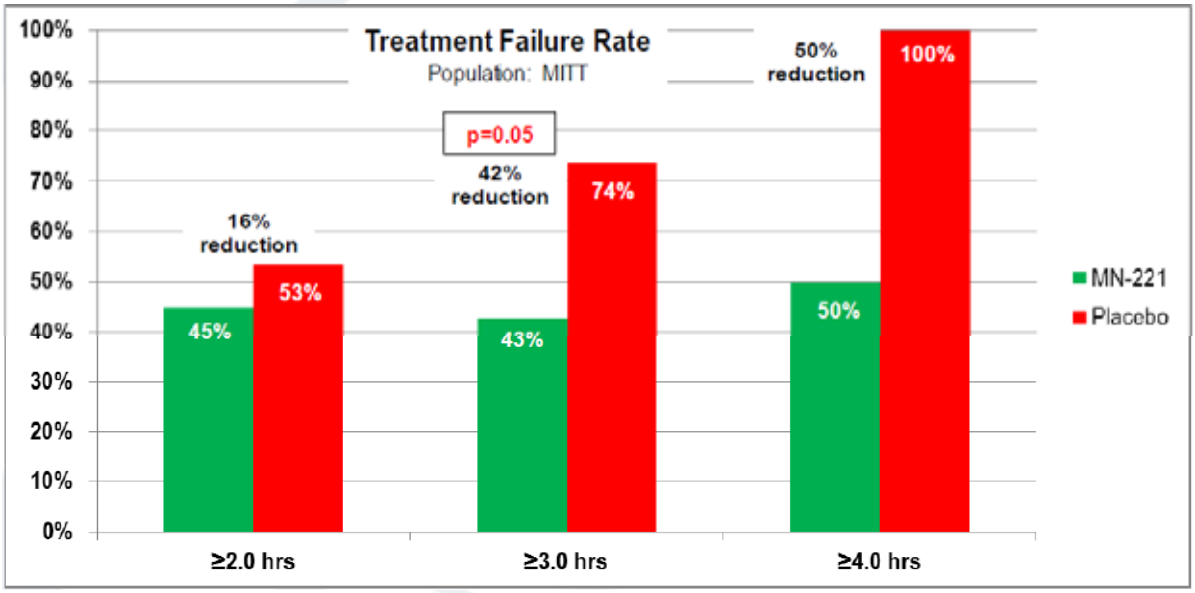
2. 臨床治験へのサジェスチョン:
   - ✓ 用量の最適化 (より高いリスク・ベネフィットバランス)
   - ✓ "喘息急性発作"適応での臨床治験におけるエンドポイント
     - ❑ 主要評価項目は "入院率の低下"など臨床的意義のあるもの

© MediciNova, Inc. 2013

MN-221-CL-007　サブグループ　データ解析

“治療失敗（入院または3日以内の発作再発）”のエンドポイント

標準治療（経口ステロイド含む）後の時間経過別にデータ解析



© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

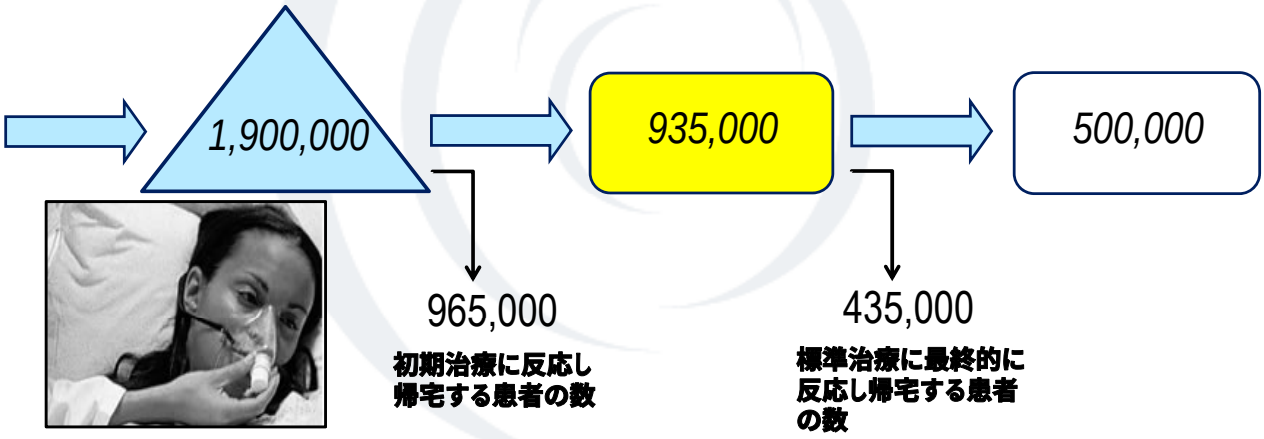
米国救急治療室での喘息急性発作　治療フロー

喘息の急性発作により救急治療室を訪れる患者数
年間1,900,000人

救急治療室における初期治療：
多くの場合、待合室において標準治療を受ける

救急治療室における二次的治療:
すぐに反応の出ない患者には、さらに標準治療を続ける

入院:
標準治療に反応のない患者は入院



出典: *Weber, Silverman et al, American Journal of Medicine, 2002, Volume 113; pp 371*

MEDICINOVA

MEDICINOVA

パイプライン開発状況②

イブジラスト(MN-166):
薬物依存症
進行型多発性硬化症
神経因性疼痛

MEDICINOVA

イブジラスト (MN-166) の概要

杏林製薬が開発 (23年以上の歴史)

- ✓ 低分子化合物、経口カプセル
- ✓ 喘息または脳梗塞後の“めまい”の適応
- ✓ 既に日本だけで320万人以上に処方ー安全性･認容性良好
- ✓ 特異な作用機序 (PDE3, 4, 10, 11&MIF阻害作用)



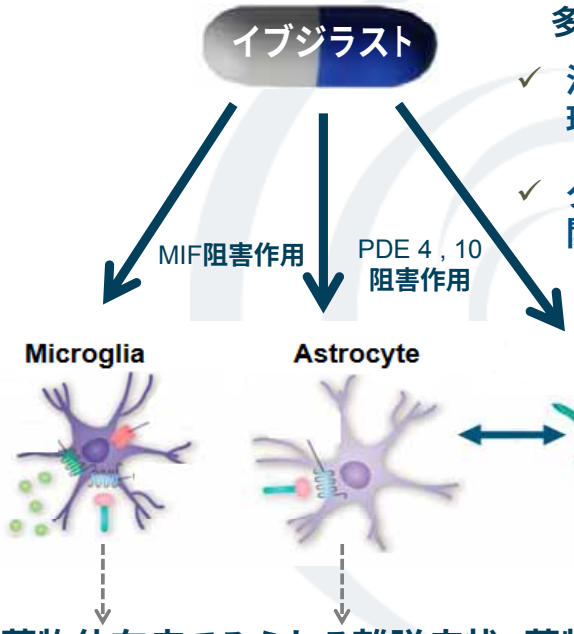
ニーズが充たされていない中枢神経系疾患への効果が期待される

- ✓ 薬物依存症 - メタンフェタミン (覚せい剤) 依存症
  - オピオイド (麻薬系鎮痛剤) 依存における離脱症状
- ✓ 進行型多発性硬化症
- ✓ 神経因性疼痛

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

イブジラスト(MN-166) 細胞内でのメカニズム



多様なMOAがグリア活性による症状を和らげる

- ✓ 活性グリアを鎮静させグリアーニューロンの悪循環を断ち切る
- ✓ グリア細胞の活性化が薬物依存の主要な症状と関連

薬物依存症でみられる離脱症状、薬物欲求や依存症の再発
多発性硬化症における脳変性の進行

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

薬物依存症の新規治療薬としての可能性

- ✓ 確立された安全性　常習性を起こさない　低分子化合物
- ✓ 活性グリア細胞に対するユニークな作用
- ✓ 薬物依存治療薬として　期待される効果

1. ダメージを受けた中枢神経系の回復
2. 再発の防止　(薬物使用の欲求を抑制)

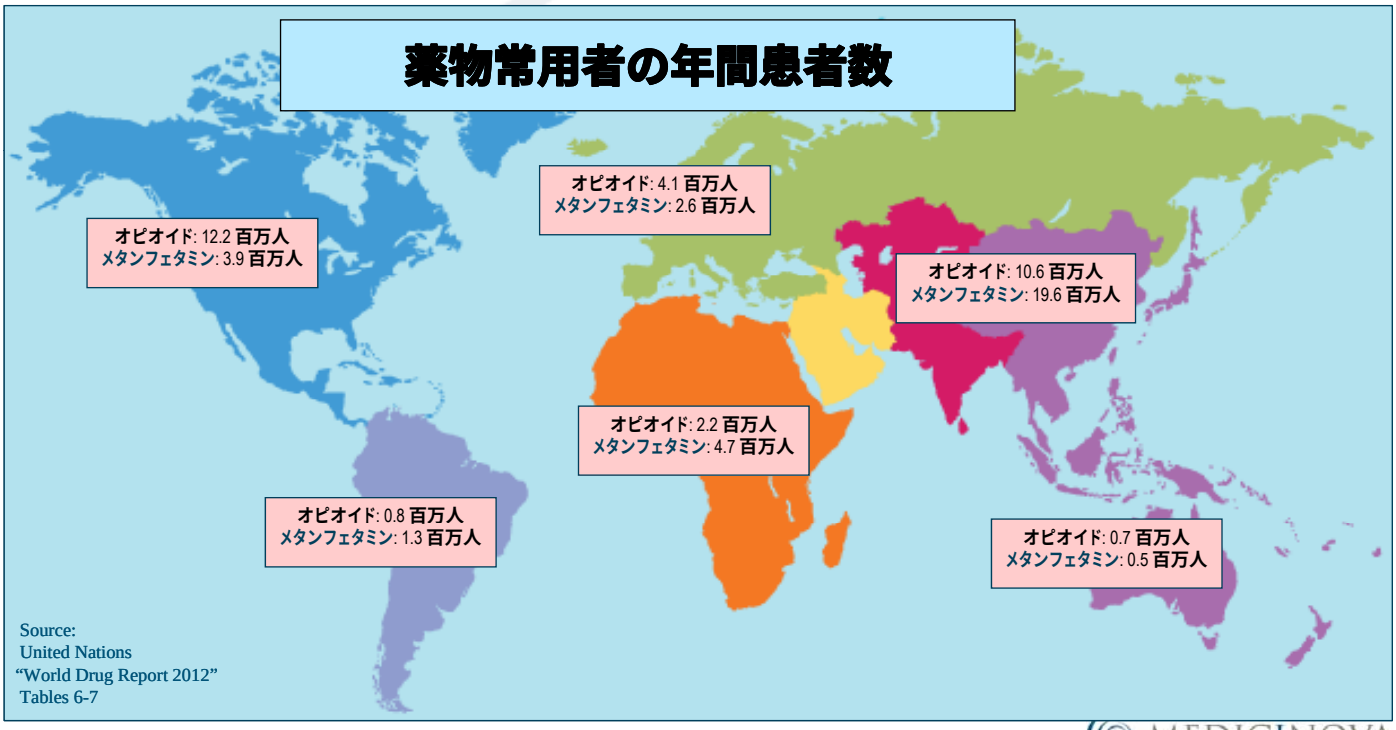
などから　“薬物依存者”の更生を促進

⇒ 4つの臨床試験(Ph1b-Ph2) にNIH/NIDAからの治験研究費助成

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

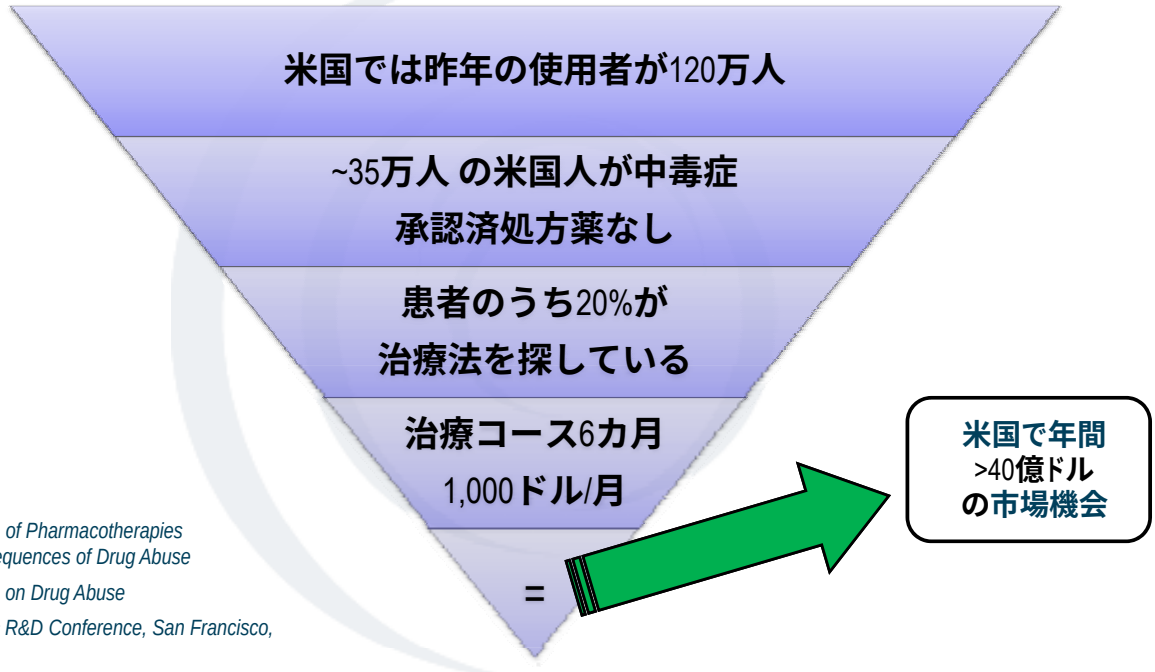
薬物依存症: グローバルなニーズ



© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

メタンフェタミン依存症には承認薬不在



Source:
Dr. Phil Skolnick
Director, Division of Pharmacotherapies & Medical Consequences of Drug Abuse
National Institute on Drug Abuse
Neuropsychiatric R&D Conference, San Francisco, CA Sept 2012

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

覚せい剤乱用による心身への悪影響

- ✓ 記憶力の低下、注意欠陥
- ✓ 攻撃性が増す
- ✓ 精神病的行動
- ✓ 循環器系へのダメージ
- ✓ 栄養不良
- ✓ 深刻な歯科疾患
- ✓ 感染症感染のリスク拡大（肝炎、HIVなど）
- ✓ 犯罪、失業、ネグレクト、児童虐待などの増加
- ✓ 米国の社会負担コスト＝＞ 230億ドル



Source: National Institute on Drug Abuse (NIDA) Research Report: Methamphetamine Abuse and Addiction, The Economic Cost of Methamphetamine Use in the United States, 2005, by Nancy Nicosia, Rosalie Liccardo Pacula, Beau Kilmer, Russell Lundberg, and James Chiesa

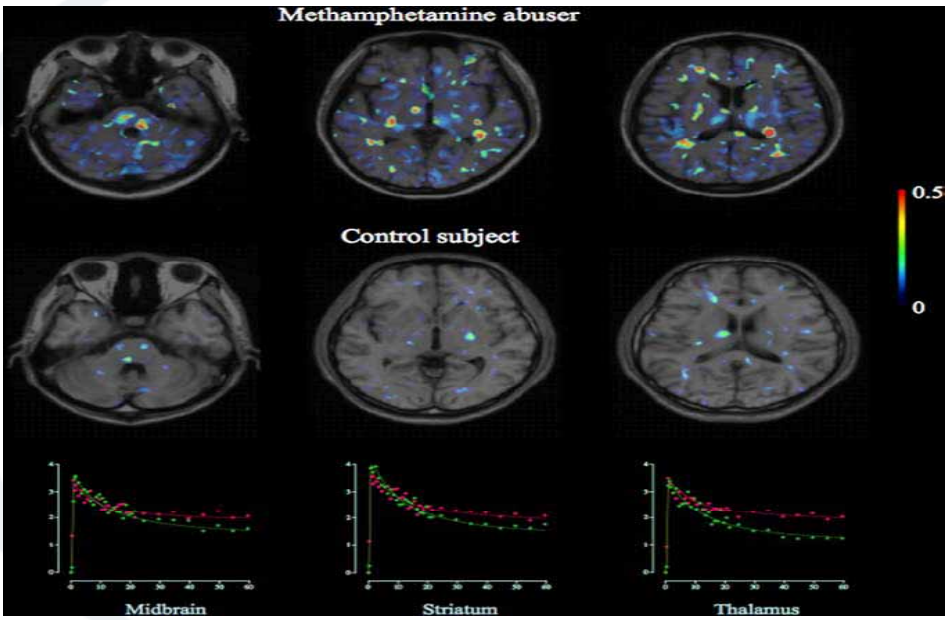
© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

メタンフェタミン依存における脳のグリア活性

メタンフェタミン中毒者

健常者



[^{11}C](*R*)-PK11195:
活性ミクログリアへのPET放射性追跡

Source: Sekine et al., J Neurosci, 2008

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

メタンフェタミン依存症適応のフェーズ1b臨床試験の概要

治験デザイン
N = 12
対象：治療を受けていないメタンフェタミン依存患者
治験デザイン：プラセボ対照二重盲検試験
期間：約1ヶ月（入院による治験）
被験者はメタンフェタミン投与をうけながら、下記のいずれかを完了： 1.プラセボ → イブジラスト40 mg/日 → 100 mg/日 2.イブジラスト40mg/日→ 100 mg/日→ プラセボ
安全性/有効性の測定： • メタンフェタミンとイブジラスト併用での循環器系への作用 •メタンフェタミンとイブジラスト併用での認識作用及び自覚効果（欲求など） •イブジラストとメタンフェタミンの相互薬物動態

パートナー

National Institutes of Health
NIDA NATIONAL INSTITUTE ON DRUG ABUSE
The Science of Drug Abuse & Addiction

THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA UCLA

タイミング

2013年上期完了

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

メタンフェタミン依存症適応のフェーズ1b臨床試験の結果①

2013年6月に米国薬物依存問題学会第75回年会で結果を発表

安全性:

メタンフェタミン使用者におけるイブジラスト上限100mg/日の安全性

✓ 特に心配されていた循環器系への安全性が確立

⇒通院患者対象のフェーズ2臨床試験において100mg/日の投与を可能とした

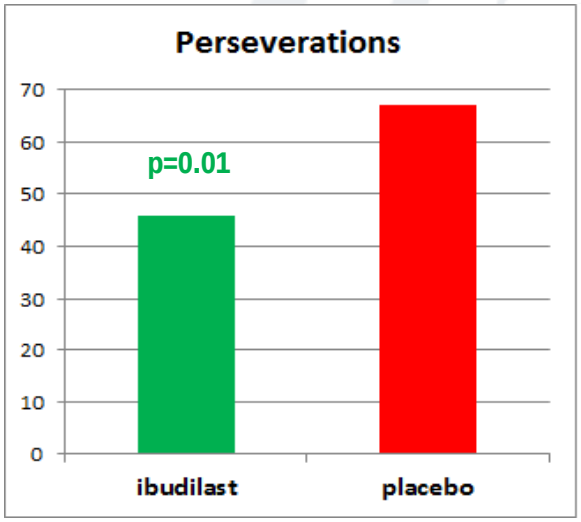
© MediciNova, Inc. 2013

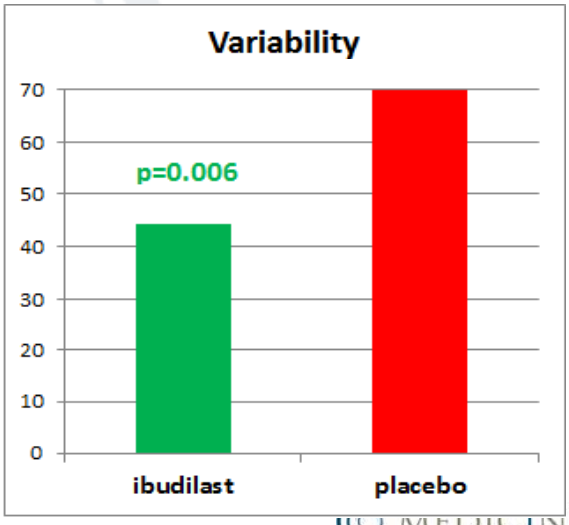
MEDICINOVA

メタンフェタミン依存症適応のフェーズ1b臨床試験の結果②

効果:

- ✓ コナーの作業検査評価 (CPT-II) が注意力持続の指標
- ✓ イブジラスト (MN-166) が固執と反応時間のばらつきを顕著に改善
- ✓ イブジラスト (MN-166) は注意力持続に対して効果を持つ可能性





Note: Perseveration is a reaction time that is less than 100 ms; Variability is a measure of response speed consistency

MEDICINOVA

メタンフェタミン依存症適応のフェーズ2臨床試験の概要

治験デザイン
N = 140 (上限160名)
対象：治療希望のメタンフェタミン中毒者
デザイン：プラセボ対照無作為二重盲検試験
用量：プラセボまたはイブジラスト100mg/日
期間：3回/週　12週間　の外来通院
❖ 健康診断、カウンセリング、尿検査などを行う
主要評価項目は、最後の2週間のメタンフェタミン使用の有無 ✓*NIDA及びFDA推奨の評価項目*

パートナー

National Institutes of Health
NIDA NATIONAL INSTITUTE ON DRUG ABUSE
The Science of Drug Abuse & Addiction

THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA UCLA

タイミング
2013年第3四半期試験開始予定
2014年中に完了予定

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

オピオイド依存症治療薬のニーズ

Subutex/Suboxone（オピオイド依存症治療薬） の売上は2011年に$1.2 billion
2012年には $1.4 billion



- ✓ **Suboxoneは“オピオイド拮抗薬”と“作動薬”の組み合わせ**
- ✓ **中毒性の高さと安全性の問題があり、アメリカではスケジュール3に指定**
  - o 医者がSuboxone を処方できる患者の数に限りがある
  - o Suboxone自体に中毒性があるため、麻薬中毒者が新たにSuboxone中毒になる可能性
  - o 小児への暴露事故が相次ぎ、錠剤は発売中止の予定
- ✓ **イブジラストの市場は、現在販売されている製品よりはるかに大きいと期待される**

**Source: 2011 Reckitt Benckiser Annual Report; Assumes 1 £ = 1.60 USD*

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

オピオイド離脱&鎮痛(OWA)適応のフェーズ1b/2a臨床試験の概要

治験デザイン

N = 30

対象・期間：ヘロイン中毒患者　入院3週間の試験

デザイン：プラセボ対照二重盲検試験

1週目:
すべての被験者にモルヒネ(30 mg)とプラセボを投与
2週目:
すべての被験者にモルヒネと併用で、プラセボまたはイブジラスト40mg/日またはイブジラスト80mg/日を投与
3週目:
被験者に、プラセボまたはイブジラスト40mg/日またはイブジラスト80mg/日を継続して投与。モルヒネは投与中止し、離脱症状を評価

目的:
・ヘロイン使用時のイブジラストの安全性、認容性、薬物動態を評価
・ヘロイン患者におけるオピオイド離脱(症状　及び鎮痛の相乗作用）の効果を評価

パートナー

National Institutes of Health
NIDA NATIONAL INSTITUTE ON DRUG ABUSE
The Science of Drug Abuse & Addiction

COLUMBIA UNIVERSITY

NEW YORK STATE
Psychiatric Institute

タイミング

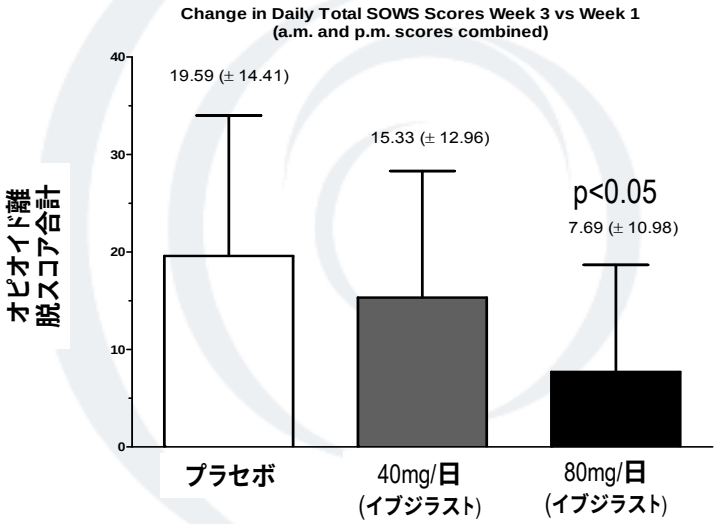
2010年完了
2013年AANポスター発表

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

主要評価の主観的オピオイド離脱症状スコア(SOWS)に見るイブジラスト の効果

主要評価項目 = イブジラスト投薬の効果としての
主観的オピオイド離脱症状スコアの総計



80 mg/日のMN-166投与した群で、プラセボ群に比較しオピオイドに起因する縮瞳が大きく(p≤0.05) 耐性の減少が示唆される.
注: 一日80mgのMN-166投与群で、統計的異常値を呈した患者一名のデータが解析から排除されています

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

オピオイド依存者におけるオキシコドン自己投与に対する効果(現行のフェーズ2臨床試験)

治験デザイン

N = 24

対象:オピオイド処方薬 またはヘロインによる依存患者

デザイン:プラセボ対照無作為二重盲検試験
(クロスオーバー)

用量・期間:
被験者は、オピオイドの解毒後
1. イブジラスト100mg/日x20日の後、プラセボ x20日
または
2. プラセボx20日の後、イブジラスト100mg/日x 20日

目的:
オピオイドの欲求及び自己投与に対するイブジラストの効果を検証

パートナー

National Institutes of Health
NIDA NATIONAL INSTITUTE ON DRUG ABUSE
The Science of Drug Abuse & Addiction

COLUMBIA UNIVERSITY

NEW YORK STATE
Psychiatric Institute

タイミング

2012年11月試験開始

2014年上半期完了予定

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

多発性硬化症適応のフェーズ2臨床試験の結果

二次進行型多発性硬化症(SPMS)患者における全脳委縮の解析

	プラセボ	30 mg/日 低用量		60 mg/日 高用量	
患者集団	%脳重量の変化	%脳重量の変化	脳萎縮抑制効果率	% 脳重量の変化	脳萎縮効果率
RRMS	-1.2*	-11.1	8% 減少	-0.8	33%減少**
SPMS	-1.0	-0.7	30% 減少	-0.44	56% 減少

•平均的変化
•**p=0.035

RRMS = 再発寛解型多発性硬化症
SPMS = 二次進行型多発性硬化症

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

進行型多発性硬化症適応のフェーズ2b臨床試験の概要

治験デザイン
N = 250
対象・期間：進行型多発性硬化症患者、2年間 (96週)
デザイン：プラセボ対照二重盲検試験
最初の2週間: プラセボまたはイブジラスト60mg 2週-10週目 プラセボ、イブジラストの用量タイトレーション 10週目以降: プラセボまたはイブジラスト100mg/日 (被験者の認容性、安全性によっては60mg/日 80mg/日への用量も可能)
目的: 進行型多発性硬化症患者におけるイブジラストの脳萎縮抑制 (予防) 効果を評価 (MRI) INFβ、コパキサン使用者におけるイブジラスト併用の安全性を評価

パートナー

National Multiple Sclerosis Society

タイミング

2013年9月開始

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

イブジラスト適応拡大の可能性

疼痛

✓ オーストラリア アデレイド大学で薬剤誘発性頭痛(MOH)を適応とするフェーズ2a臨床試験を実施中

- 2013年下期中に完了予定

その他の依存症

✓ 他の依存症領域で“医師主導”による治験・開発をサポート

(例. アルコール依存症など)

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

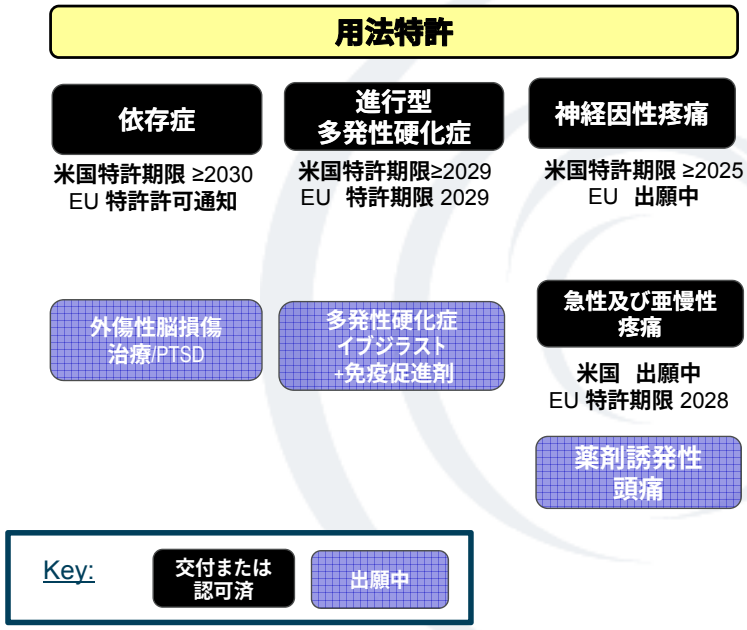
イブジラスト進行中の臨床試験について

	2012	2013	2014
MN-166 の開発は4本がフェーズ2臨床試験へ			
メタンフェタミン(覚せい剤)依存 UCLA & NIDA	Phase 1b		Phase 2 ready to start
オピオイド(麻薬)依存 Columbia 大学 & NIDA		Phase 2a ongoing	
薬剤誘発性頭痛 Adelaide 大学&豪政府機関	Phase 2a ongoing		
進行型多発性硬化症 NeuroNEXT(NIH), MS society			Phase 2b starting Sept/2013

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

MN-166(イブジラスト)の特許マップ



新規化学物質 (NCE) **の独占期間**:

- ヨーロッパでは10 年間のデータ独占
- 米国ではハッチ･ワクスマン法による 5年間以上の追加独占期間

* 米国の特許期限にはハッチ･ワクスマン法による 特許期間の延長は含んでいない(業界平均 = 4.5年).

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

2013年12月期第2四半期決算の状況

2013年12月期第2四半期決算業績

		2012年度下期	2013年度上期	前期比（%）
営業収益	千米ドル	118	3	97.5%減少
	百万円	12	0	
営業損失	千米ドル	4,784	5,205	8.8%増加
	百万円	469	511	
純損失	千米ドル	4,812	5,205	8.2%増加
	百万円	472	511	

為替レートは2013年7月31日
三菱東京UFJ銀行のTTM1ドル＝98.08円を使用

営業収益：0百万米ドル

〈前下期比：0.1百万米ドル（約0.1億円）減少〉

営業損失：5.2百万米ドル

〈前下期比：0.4百万米ドル（約0.4億円）増加〉

純損失：5.2百万米ドル

〈前下期比：0.4百万米ドル（約0.4億円）増加〉

結果：

- 営業収益、当期営業損失及び当期純損失は2013年5月9日発表の2013年12月期第2四半期業績修正予想に対してそれぞれ0%、1.1%、1.1%の増加となった

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

2013年12月期第2四半期業績の予実対比

（千米ドル）	2013年12月期第2四半期業績実績	2013年5月9日発表2013年12月期第2四半期修正業績予想	増減額（%）
売上高（営業収益）	3	3	±0（±0%）
営業損失	5,205	5,147	+58（+1.1%）
純損失	5,205	5,149	+56（+1.1%）

営業収益予実対比：±0千米ドル
営業損失予実対比：58千米ドル増加
純損失予実対比：56千米ドル増加

- 売上高、営業損失、純損失ともに、ほぼ2013年5月9日発表の2013年12月期第2四半期修正業績予想の通りであった

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

要約貸借対照表

*左記要約貸借対照表は説明上重要性の高い一部の項目のみ記載しております。

(千米ドル)	2013年6月	2012年12月	増減
現金及び現金同等物	12,017	4,011	+8,007
前払費用及びその他の流動資産	480	412	+69
のれん	9,600	9,600	―
仕掛研究開発費	4,800	4,800	―
中国JV投資	673	667	+6
有形固定資産 (純額)	106	78	+27
資産合計	**27,677**	**19,568**	**+8,109**
支払債務	131	492	△361
未払費用・税金・給与及び関連費用	945	543	+402
短期繰延収益	―	3	△3
繰延税金負債	1,956	1,956	―
長期繰延収益	1,694	1,694	―
負債合計	**4,726**	**4,688**	**+38**
優先株式・普通株式	24	20	+4
払込剰余金	325,568	312,293	+13,275
その他包括損失累計額	△79	△68	△11
自己株式取得原価	△1,124	△1,131	+7
開発段階での累損欠損	△301,439	△296,234	△5,205
株主資本合計	**22,951**	**14,880**	**△8,071**
負債及び株主資本合計	**27,677**	**19,568**	**+8,109**

現金及び現金同等物:12.0百万米ドル

(前期末比:8.0百万米ドル (約7.9億円) 増加)

- 2014年6月30日までの予定された事業運営費を十分にカバー

資産合計:27.7百万米ドル

(前期末比:8.1百万米ドル (約8.0億円) 増加)

- 新株購入契約の実行及び第三者割当増資により12.7百万米ドルの資金調達を行ったこと、営業活動に5.2百万米ドルの資金を使用したことを主な要因として、現金及び現金同等物が8.1百万米ドル増加

負債合計:4.7百万米ドル ※有利子負債はゼロ

(前期末比:0.0百万米ドル (約0.0億円) 増加)

株主資本合計:23.0百万米ドル

(前期末比:8.1百万米ドル (約7.9億円) 増加)

- 新株購入契約実行及び第三者割当増資等による払込剰余金13.3百万米ドル増加
- 開発段階での累損欠損5.2百万米ドル増加

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

要約損益計算書

*左記要約損益計算書は説明上重要性の高い一部の項目のみ記載しております。

(千米ドル)	2013年度上期	2012年度下期	増減
売上高(営業収益)	**3**	**118**	**△115**
研究開発費	1,642	1,651	△9
一般管理費	3,567	3,251	+316
営業費用合計	**5,209**	**4,902**	**+307**
営業損失	**5,205**	**4,784**	**+421**
その他の損益	1	△18	+19
当期純損失	**5,205**	**4,812**	**+393**

売上高(営業収益):3千米ドル

(前下期比: 0.1百万米ドル (約0.1億円) 減少)

- キッセイ薬品との臨床試験共同実施契約に基づき実施したMN-221-CL-012臨床試験に関わる費用が一部、2013年第1四半期中まで発生し、当該発生期間に対応する部分を営業収益として計上していることによるもの

一般管理費:3.6百万米ドル

(前下期比:0.3百万米ドル増加)

- 従業員の人件費及び弁護士費用を中心とする専門家費用の増加を中心に0.3百万米ドル増加

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

MEDICINOVA

2013年下期の予定

2013年上期の実績済、下期の予定

導出活動について

1. MN-221 気管支喘息急性発作治療薬/COPD治療薬
   - 日本を除いた地域パートナーシップを締結
2. イブジラスト(MN-166)
   - 米国を除いた地域パートナーシップを締結

臨床開発について

済 1. イブジラスト(MN-166)進行型多発性硬化症のフェーズ2b臨床試験への助成金獲得
   - 2013/7/19及び7/24付プレスリリースにて発表

済 2. イブジラスト(MN-166)メタンフェタミン依存適応のフェーズ1b臨床試験の結果発表
   - 2013/6/19付プレスリリースにて発表

済 3. イブジラスト(MN-166)メタンフェタミン依存適応のフェーズ2臨床試験開始を発表
   - 2013/6/19付プレスリリースにて発表(実際の開始は2013年第3四半期中)

4. イブジラスト(MN-166)薬剤誘発性頭痛適応のフェーズ2a臨床試験の結果発表
   - 2013年下期中を予定

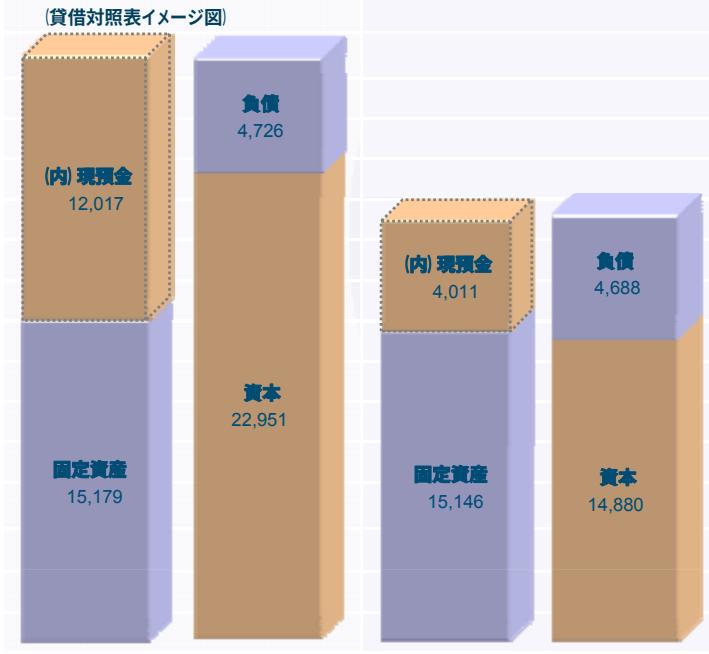
追加 5. MN-001非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)の前臨床試験の結果発表
   - 2013年末を予定

© MediciNova, Inc. 2013

当社の株価状況

1株当たり指数と時価総額

三菱東京UFJ銀行の為替レート（TTM）を使用
2013年7月31日、1ドル=98.08円



2013年6月（当期四半期末）	2012年12月（前期末）	（百万円）		2013年3月	2012年12月	増減	単位
		現金及び現金同等物		12,017	4,011	+8,006	千米ドル
				1,179	393	+786	百万円
		資本合計		22,951	14,880	+8,071	千米ドル
				2,251	1,459	+792	百万円
		1株当たり純資産		1.04	0.86	+0.18	米ドル
				102	84	+18	円
		1株当たり現金及び現金同等物		0.54	0.23	+0.31	米ドル
				53	23	+30	円
		株価		2013年7月31日終値	2012年12月28日終値		
			ナスダック	2.66	1.77	+0.89	米ドル
			ジャスダック	248	146	+102	円
		時価総額	ナスダック	58,915	30,811	+28,104	千米ドル
			ジャスダック	5,493	2,541	+2,952	百万円
		発行済株式数		22,148,493	17,407,311	+4,741,182	株
		自己株式数		0	4,186	△4,186	株

© MediciNova, Inc. 2013

JASDAQとNASDAQ市場の株価比較



© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA

ご清聴いただき有難うございました。

JASDAQ
TSE JASDAQ LISTED

ジャスダック証券コード：4875

MNOV
NASDAQ
LISTED

ナスダック Ticker：MNOV

© MediciNova, Inc. 2013

MEDICINOVA